

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」新たなステージへ —



みんなとともに



福島市は、感染状況を踏まえ、年内中は「レベル2」として対応する旨の通知がありました。今後は、臨時休校後に教育活動を徐々に再開してきた対応の“逆の対応”をしていくことになります。しかし、基本は「ウイルスを校内に持ち込まないこと」です。同居の家族に風邪症状が見られたときも「出席停止」の措置を取りますので、家族を含めての健康管理・把握をお願いいたします。



週末作文のススメ その5

今回は、6年生の意見文です。さすが6年生、という意見文が多かったです。その中から、自分の考えを主張するための「根拠」を何に求めるかが、とても参考になる意見文を紹介します。ご覧ください。

木村 蒼衣 【根拠を「自分の体験」に求めている例】

学校でシャープペンシルを使ってもよいのではないかについて、私は使ってもよいと思います。

理由は、二つあります。一つ目は、ずっと書いても太い字にならずほとんど同じ太さで書いていられるからです。えん筆は書いてみると、だんだん太くなってきて読みづらくなってきたり書きづらくなってきたりしてしまうので、シャープペンシルの方がよいと思います。

二つ目の理由は、芯が折れても次々に出てくるからです。えん筆は芯が折れたら、えん筆けずりでけずったり、代えのえん筆を出したりしなくては行けなくて、シャープペンシルならボタンをおせば芯が出てくるので、すぐに書き始められるし、けずらないから短くなっていくこともありません。芯が無くなったなら入れればいいだけなので、とても楽です。

もっと理由や良い所はありますが、この二つがとくに良い理由だと私は思います。だから、私は学校で使ってもよいと思います。

三浦 優香 【根拠を「ネットで調べた情報（アンケート結果）」に求めている例】

私は、「学校でシャープペンシルを使ってもよいのではないか。」という意見に賛成です。

なぜかという、えんぴつをけずる手間を省くことができるし、えんぴつのように何本も持ち歩かなくてもよいからです。ほかの人がどう思うのかを知りたくてネットで調べたら、ゼブラという文房具メーカーができました。ゼブラのアンケートによると、賛成の意見では、私の意見のほかに、「機能的で書きやすいから」や「均一の太さの線がかけるから」などがありました。反対については、「シャープペンシルは芯が折れやすい」や「持ち方、書き方を覚えるまではえんぴつがよいと思う」という保護者の意見がありました。このほかにも、小学生のシャープペンの使用率は高いという結果がありました。

このことから、反対の意見も理解できるので、「学校でシャープペンシルを使ってもよいのではないか」について、私は力加減ができる、上学年からの使用なら賛成です。

尾形 篤人 【根拠を「ネットで調べた情報（行政等の状況）」に求めている例】

ぼくは学校で、シャープペンシルを使ってもよいと思います。

理由は、そもそも禁止する理由がわからないからです。学校でのシャープペンについてネットで調べましたが、特に文部科学省が禁止しているわけでもありませんでした。それに、社会に出れば、仕事では、えんぴつを使わないとは言いませんが、ペン類を使うことが多くなると思います。学校で、えんぴつしか使うのではなく、えんぴつとシャープペンシル両方のメリットを知って、場に応じた使い方ができるとよいと思います。

以上の理由から、学校でシャープペンシルを使ってもよいと思います。

荒川 大悟 【根拠を「他者からの情報」に求めている例】

ぼくは、「学校でシャープペンシルを使ってもよいかどうか」について賛成です。

理由は、中学のお友達から聞いた話で、「中学校は、小学校みたいにえん筆を使わずに、ほとんどみんな、シャープペンシルだよ」と言っていて、小学校で中学校の練習が必要だと思ったからです。そのほかに、シャープペンを使うと、えん筆は、落としたりしたら折れてしまうけど、シャープペンシルは、落としても、折れるのは表面だけで、中は折れないからです。

二つ目は、勉強にたとえると、小学校では「基盤」、これから使うものを教えてもらいます。それと同じで、シャープペンシルも小学校で使い方を学び、中学校で「実用」として、何事も積み重ねが大切だと思ったからです。

このような理由で、ぼくは、「学校でシャープペンシルを使ってもよいのではないか。」に賛成です。